



役員改選

新会長に 土屋一徳氏

去る2月23日(有)悠楽社会議室で開催された役員会で、長谷川勲会長が辞意を表明、後任に土屋一徳氏(昭39卒)を推薦した。又、紙谷正之幹事長(昭44卒)も業務の都合から退任の意向を寄せた。



握手する土屋新会長(右)と長谷川前会長(左)

三月三十一日、本学。パスタ館で開催された総会で長谷川勲会長(昭三七卒)、紙谷正之幹事長(昭四四卒)、渡辺欽五監督(昭四五卒)の退任が承認された。
長谷川会長は昭和三四年武蔵大学剣道部を創設し、卒業後は監督として剣道部の発展に尽くされた。平成二年、本会正式発足と同時に会長に就任、以後本会の運営と発展に永きに亘りご尽力を戴いた。役員の中からは、慰留の声も多かったが、「四十周年の記念行事も無事に終わり、一区切り付いたところで若い人達にバトタッチを」の決意は固く、役員会、総会の承認をもって退任の運びとなった。

新体制

副会長に水木征二氏(昭四三卒)
幹事長に松井邦夫氏(昭四五卒)

後任の土屋一徳氏は、昭和三五年初心者として入部。卒業後も熱心に稽古を続けられ、平成三年七段に昇段された。剣道による交友は広く、現在は関東学生剣道連盟の評議員、公認審判員に任じられている。昨年岡田行一氏の後任として副会長に就任、今総会では満場一致で会長に推薦された。

又、本会規約第八条 役員のうち、「副幹事長一名」を「副幹事長若干名」に改訂することが決められた。これにより本会運営の実行体制が更に充実した。従前副会長は二名いたが、当分の間、一名で運営することです。承された。今後は、平成卒業の役員と、女性の役員の誕生を實現し、会員各層の声が、反映される体勢にしたい。
新役員は次の通り。

- | | |
|------|------------|
| 監査 | 後藤一於(昭三八卒) |
| 会長 | 土屋一徳(昭三九卒) |
| 副会長 | 水木征二(昭四三卒) |
| 会計 | 大竹茂雄(昭五六卒) |
| 幹事長 | 松井邦夫(昭四五卒) |
| 副幹事長 | 名取久由(昭四九卒) |
| 同 | 三木眞人(昭六〇卒) |

武蔵大学剣友会HP準備室

開設のお知らせ

昭和60年卒の三木眞人です。この度、副幹事長をお引受けした手初めに、剣友会のホームページを作ってみました。

昨年創部40周年を迎え、会員も250名を超えました。全国各地で様々な生活を送られていることと思います。どうぞホームページをのぞいて行って下さい。

尚、会員いがいの人は入室出来ない仕組みを採りましたので、閲覧の際にグループidとパスワードが必要となります。ご意見ご要望を、お聞かせ下さい。

- ホームページアドレス <http://www.minakuru.net>
- グループid kote
- パスワード men

長谷川勲前会長 からの

メッセージ

長い間お世話になりました。嫌な決断をしなければならぬ時もありましたが、大過無く過ごせましたのは、会員の皆様のご協力の賜と感謝しております。
これからは一会員として「剣縁」を大事にヘラヘラと稽古を続けて行きたいと思っております。
新体制の剣友会へのご協力とご支援のほど、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

決算・予算案承認される

去る三月三十一日(土)午後一時より大学構内パスタ館で開催された総会で、平成十二年度決算と同十三年度予算案が満場一致で承認された。

十二年度決算では、四十周年記念事業の残額約四十二万円が収入の部に繰り込まれた。

支出の部では、剣道部への新大会結成の為の援助金を五万円を支出したこと、昨年規約改訂した「昇段のお祝」や「慶弔見舞」が発生したことが、特筆される。

一方、十三年度予算の収入の部は、年度会費の伸びが見込めず、次年度への繰越が大幅に減額となる。予測される。会員は年々増加し、経費の増加に対し、年会費収入の伸びが少ないという傾向は、ここ数年続いている。近い将来剣道部への援助や慶弔見舞の充実も縮小せざるを得ない状態が、予想される。一方支出の部では新大会結成のための剣道部への援助金が六万三千円予算化されている。剣友会の活動は、ほぼ例年通りとなる。平成十二年度決算と同十三年度予算案は、下表をご覧ください。

剣友会の活動につき、是非ご意見をお聞かせ下さい。

項目	H 1 2 決算額	H 1 3 予算額
前年度繰越額	267,477	304,491
収入の部		
口座振替年会費	1,015,000	1,120,000
振込他年会費	305,475	200,000
預金利息	329	0
寄付その他	8,000	0
小計	1,328,804	1,320,000
40周年関係		
40周年残金	434,619	0
寄付口座より振替	20,000	0
小計	454,619	0
収入の部合計	1,783,423	1,320,000
支出の部		
先生方 謝礼他	300,000	325,000
OB合宿及び現役夏合宿時先生方謝礼	160,000	160,000
監督年間交通費	50,000	50,000
新人勧誘費援助金	40,000	40,000
夏合宿援助金	100,000	100,000
現役支払OB連絡費他 負担金	100,000	50,000
OB会扱いOB連絡費他	128,084	130,000
学連剣友会 参加費他	167,000	167,000
明生ビジネス取扱手数料	24,990	25,000
新聞発行費用	190,260	100,000
夏合宿先生方宿泊代他	64,000	65,000
卒業生寄贈及びOB剣友会加入 名札代他	17,745	10,000
昇段 記念品	22,207	50,000
慶弔見舞	37,103	80,000
現役支払 新リーグ結成援助金	50,000	63,000
会議室利用代金	36,750	36,750
その他	32,961	50,000
40周年関係支出他		
40周年プロジェクト反省会打ち上げ会食他	75,309	0
武蔵大学50周年寄付金	150,000	0
支出の部合計	1,746,409	1,501,750
次年度繰越額	304,491	122,741
平成13年2月28日現在預金、現金内訳		
第一勧業銀行 渋谷支店	269,262	
東京三菱銀行 渋谷支店	35,229	
合計	304,491	

「第二十二回三時間立切試合」を終えて

昭和六十二年卒 糸井一保

湯沢で行われている三時間立切試合は、今回で二十二回目を数え、昨年からは女子二時間立切試合も始まり男子八七名、女子二名が、基立を終えている。試合は、全日本剣道連盟試合審判規則に準じ、三十三名の挑戦者とそれぞれ五分間戦い、取得本数の多いものが勝ちと云うものである。自分から基立に立候補すれば、指名を受けることが出来たと思いますが、何度も挑戦者として大会に参加して、基立の苛酷さは十分に知っていましたから、当時の自分にはそのような度胸も自信もありませんでした。「出来れば基立をやらなくて済めば」と云うのが本心であり、基立の年齢が私の年齢を下回ったときは、内心「ほっとした」のが本音であったと思います。それが一昨年の後半あたりから、剣道関係者に会う度に「来年の基立、頑張っ下さい」と言われるようになり、こうした洗脳活動のせい、次第に指名されたならば断ることは絶対に出来ないうらやまを感じるようになりました。指名を受け、承諾をして一年間のプレッシャーとの戦いと立切るための準備が始まりました。



三
月の異動で、剣道部のあまり盛んでない六郷高校に転勤となり、生徒の指導等でなかなか自分の稽古をする

ことが出来なくなりました。基立ちとしての本当の思いは、「私の置かれている環境の中で、やれる稽古をして三時間立切る事が出来れば、それが一番である」と考えておりましたが、私の場合は、これまでの稽古量では、力不足でまともに立切ることは出来ないと思ひ、七月頃から横手平鹿剣道連盟の稽古会や湯沢の稽古会に参加したり、武蔵大学剣道部四十周年記念稽古会に参加したり、出来る限りの稽古をお願いし、いろいろなタイプの人と剣を交える機会を作るようにしました。又、稽古の出来ない時は、ランニングをして、脚力や持久力を高めるように努めました。

本
前
十
時
二
七
分
、
開
始
を
告
げ
る
太
鼓
の
合
図
で
試
合
が
始
ま
っ
た
。
始
ま
っ
て
し
ま
え
ば
、
自
分
の
目
の
前
に
立
っ
て
い
る
挑
戦
者
し
か
見
え
ま
せ
ん
。
一
時
間
経
過
の
ア
ナ
ウ
ン
ス
が
あ
り
、
対
戦
表
に
目
を
や
っ
て
も
空
欄
の
多
さ
に
「
ま
だ



の
で
す
が
、
足
の
痙
攣
、
手
の
硬
直
が
起
こ
ら
な
い
よ
う
に
と
、
手
の
内
を
柔
ら
か
く
す
る
様
に
心
掛
け
ま
し
た
。
試
合
も
中
盤
あ
た
り
に
差
し
か
か
る
と
、
身
体
に
力
が
入
ら
な
く
な
り
、
不
思
議
な
も
の
で
自
然
と
相
手
の
出
頭
に
自
分
の
技
が
出
せ
る
よ
う
に
な
っ
て
い
ま
し
た
。
二
八
人
目
あ
た
り
に
相
手
か
ら
体
当
た
り
を
受
け
、
両
股
が
吊
り
、
手
の
内
が
悪
い
た
め
両
手
の
皮
が
破
れ
、
竹
刀
が
上
手
く
握
れ
な
い
状
態
で
し
た
。
最
後
の
二
名
は
、
地
元
湯
沢
の
挑
戦
者
で
当
然
の
よ
う
に
掛
り
稽
古
と
な
り
、
突
か
れ
た
り
、
い
な
さ
れ
た
り
し
て
転
げ
回
り
な
が
ら
、
一
時
二
七
分
終
了
し
ま
し
た
。

今
回
何
と
か
基
立
と
し
て
、
三
時
間
を
立
切
る
事
が
出
来
た
事
は
、
私
の
剣
道
人
生
二
途
つ
て
本
当
に
か
け
が
え
の
無
い
、
貴
重
な
体
験
と
な
り
ま
し
た
。
こ
の
一
年
間
職
場
の
同
僚
や
地
元
の
人
々
、
ま
た
大
学
関
係
か
ら
は
松
井
先
輩
と
名
取
先
輩
が
わ
ざ
わ
ざ
湯
沢
ま
で
応
援
に
駆
け
つ
け
て
戴
い
た
り
、
同
期
の
笹
川
君
、
後
輩
の
矢
川
君
か
ら
も
激
励
の
言
葉
を
戴
き
、
周
圍
の
人
々
の
心
遣
い
と
武
蔵
剣
道
部
の
情
の
厚
さ
を
改
め
て
感
じ
る
事
が
出
来
ま
し
た
。
今
後
益
々
、
自
己
の
剣
道
の
修
業
に
精
進
す
る
と
共
に
、
後
進
の
指
導
に
あ
た
り
た
い
と
思
っ
て
お
り
ま
す
。
今
は
本
当
に
感
謝
の
気
持
ち
で
一
杯
で
す
。

「有り難うございました」

糸井一保兄

三時間立切試合

糸井一保氏（昭六二年卒）から届いた年賀状には一月二十一日に、湯沢で「三時間立切試合」の基立をします。武蔵の名の下に頑張りたいと思います。と添書きされていました。立切試合。どんな試合だろうか。一度観てみたい。と思ったのが始まりでした。

（松井記）

剣道部の新年会で主務の高橋洋平君に糸井氏の年賀状の話をしました。洋平君は秋田県湯沢市の出身。高校時代は「立切試合」の手伝いをしてきたので、そのことを良く知っていました。早速、国元のお父さんに連絡を取り、「立切試合」を観戦出来るように計らって戴きました。地元剣連の前田理事長のお陰で、前日の稽古会、激励会にまで参加を許され名取久由兄（昭四九卒）と二人で、二十日午前の秋田新幹線に乗りました。湯沢市は、周辺の郡部を含めて（雄勝郡剣道連盟）大変、剣道の盛んなところでは、「立切試合」は『百錬自得』を基本精神に置いて、前日の「少年剣道教室」からスタート致します。午後三時半から五名の八段の先生と四十名の七段の先生方を基立に一般の稽古回が開催されます。広い市立体育館は、一月としては珍しい一mの積雪を吹き飛ばす熱気に包まれました。

稽古で流した汗を、湯沢温泉で流し、午後六時から激励会が始まりました。テーブルには、それぞれ「心眼」「修養」「百錬」と云った剣道

に関わる席名が付けられ、NHKのカメラも入って雰囲気盛り上げます。

来賓の挨拶や基立選手の紹介、決意表明等、会は張り詰めた空気の中で進行して行きますが、驚いたのは基立選手の一気飲みです。翌日の試合に備え、早く潰して帰らせようとの配慮とか。こんな荒々しいご親切もあるものだ、認識しました。私の臨席は第十四回立切試合の小原光晴氏でしたが、「半年前から不安になり、一ヶ月前から不眠症になる。周囲の応援なしでは、出来ません。」と話してくれたのが印象的でした。



一気飲みの糸井兄

第二二回三時間立切試合のパンフレットには、その由来について次の様に記されています。

無刀流の開祖剣豪山岡鉄舟（幕末（明治）の道場春風館では、修業の度合いを三段階に分け、それぞれの段階終了毎に、二百回、六百回、千二百回の立切試合が果たされていた。と

この湯沢市雄勝郡剣道連盟の立切試合は、男子3時間女子2時間を立切り、この間に男子は三十三名の挑戦選手と五分づつ仕合い、何本の有効打突を取ったかを競います。四人の基立に三十三名の挑戦選手が交替で掛かります。防具の補正以外は座ることも許されず、水は面金の隙間からチューブで飲む丈です。開会式を待つ会場は係員の声が響き二階席からは、糸井先生の検討を祈



禅宗の僧侶の書による襷裏側は、般若心経の一文

る教え子からの垂れ幕が下がります。正面にはこの試合の基本精神「百錬自得」が掛けられています。午前九時三十分開会式が始まります。我らの糸井兄は、五人の基立を代表して、その決意を述べます。テレビカメラが接写して、糸井兄の顔に緊張感が増してきます。午前十時二七分「立切試合」の開始の太鼓が生らされました。試合中の事は、前頁糸井兄の手記に任せたいと思いますが、三十一人目、三十二人目となつて、恐らく本人の意識は、朦朧としている状態の中からも、素晴らしい一本の面が決まるとのを見ました。まさに「百錬自得」です。この時涙が、込み上げるのを禁じ得ませんでした。

「糸井さん。感動を有り難う」

平九年卒

中野誠享・山本順子両氏婚約

予てより、周囲をやきもきさせておりました平成九年卒の中野誠享（のぶたか）兄と同期の山本順子さんが、一月に婚約し、本年六月三十日（土）に挙式することになりました。

山本さんは、四大学女子個人準優勝、団体準優勝、関根杯、伊能杯優勝と輝かしい戦歴の保持者です。中野兄は、部員の減少する中、主将として活躍され、その後も時

昭六十年卒

菅野昭浩氏 結婚

結婚不能の年と呼ばれた昭和六十年卒業の菅野昭浩氏が、結婚しました。新婦は氏が教鞭を取った高校の教え子で、安西昌子さん（二三才）。去る五月二七日、郡山市のウエディングパーク「記憶の森」で挙式しました。昨年は六段を取得し、今年はお嫁さんを取得し、ややもすると暗いこのご時勢に、明るい話題に取り巻かれております。披露宴に参加した、同期の秋山貴幹氏より、手記が寄せられました。

郡山に集まった同期生が斉唱する「剣道小唄」「大学賛歌」は、菅野の事前PR（全列席者に歌詞を配布）もあって、会場が一体となる盛り上りでした。翌日は思いいで夏の合宿の地、会津城石旅館へ（原、中村邦同行）。全く変わらぬ建物とばあちゃん（九八才六ヶ月）の毒舌に、一七年前にタイムスリップ致しました。（昭六〇秋山記）



折大学道場に見えて、後輩の指導にあたってきました。剣道部員同士の結婚は八組目となりました。今後二人で仲良く道場へ顔を出してほしいものです。

おじいちゃんが書いた本

中邑房夫著 『トルコを見て生きろ』

昭四二年中邑房夫氏が、「イタリアを見て死ぬ」に続いて「トルコを見て生きろ」（毎日新聞社刊 千六百円）を出版しました。イタリア訪問二十回の経験から書かれた前著の好評に気が良くして出版されたものですが、イタリア文化のルーツを探るうちにトルコに行き着き、今度はトルコに魅せられたという次第です。

本書で紹介されるトルコは、主として地中海沿岸の諸都市ですが、訪れた都市の歴史や見学した遺跡の歴史的背景などが詳しく語られイタリアとの関連を知ることが出来ます。写真や地図もたっぷり使われて、臨場感あふれる著書となりました。オジイチャンの文才を疑う前に、是非ご一読下さい。



伊藤部長教授に

いつもお世話になっている剣道部長の伊藤成康先生が、平成十二年四月一日付にて教授に昇格されました。皆さんにご報告が遅れたことをお詫びすると共に、先生にはお祝いを申し上げ今後のますますのご活躍をお祈りしたいと思います。

新主将等幹部決まる

主 将 小野千尋(日文)
主 務 竹内史好(社会)
学連幹事 竹内良輔(経済)
会 計 石渡大介(経済)
(兼 OB連絡係)

平成十三年度の新役員(三年生)が右記のように決まりました。剣友会としても出来る限りの応援をしていきたいと思っておりますので、会員諸兄のご協力をお願いいたします。なお副主将等の準幹部につきましては、二年生のため七月以降に決定の予定です。



(左から)主務・竹内(史)、学連・竹内(良)、主将・小野、会計・石渡

新入部員は4名

今年も新入部員が別表のように入りました。男子4名で全員有段者です。大変に頼もしい一年生達です。惜しむらくは女子の新入部員がいないことです。現在の女子部員数では、試合に必要な人数を確保できない状態です。体育会系の部活動が敬遠される昨今の大学生気質ですが、部員の増加を望みたいものです。



(左から)梶山・三膳(みよし)・吉田

氏名	学科	段位	出身高校 出身地
梶山裕次郎	欧米文化	参段	県立若松 千葉県
三膳大輔	経済	弐段	新潟名訓 新潟県
本館禎宏	経済	参段	黒沢尻北 岩手県
吉田正明	日本文化	参段	県立磐城 福島県

夏合宿

今年も伊豆にて

夏合宿は八月二十一日より二十五日まで、昨年と同じく静岡県立伊豆中央高校の体育館をお借りして行います。宿舎もおなじみの内浦の「とさわや」(0559-43)2002です。二十五日から二十七日は剣友会合宿として一日だけは合同稽古を行います。詳細ご希望の方は幹事長(松井)までご連絡下さい。

◆ 四大学春季剣道大会

六月十七日(日曜日)
会場 成城大学
(試合後OB合同稽古)

新大会開催決定

九月九日(日曜日)
会場 武蔵大学
上智、成城、二松学舎及び東京農工大学(予定)との五校にて新競技大会結成による第一回大会を開催することになりました。